

本県で展開されている主な県民運動

名称	目的・目標
いわて未来づくり機構	岩手県内で活動する組織が智慧と行動力を結集するためのネットワークを構築し、岩手県の地域社会の総合的な発展に向けて県民力を挙げオール岩手で取り組み、具体的に実践していく。
正しい交通ルール守る県民運動	交通事故の撲滅を目指して、全ての県民が交通安全思想の高揚に努め、正しい交通ルールの遵守と交通マナーの実践を通じて、安全で快適な交通社会を築くため、県を始めとする関係機関・団体及び地域住民が一体となって、県民総参加による交通安全運動を強力に推進する。
温暖化防止いわて県民会議	自然豊かな環境を守り、県民の生活基盤に影響を及ぼす極めて深刻な環境問題である地球温暖化の防止を図るため、構成団体相互の連携や協働により、温室効果ガスを可能な限り排出しない生活様式や事業活動への転換、気候変動の影響による被害の防止又は軽減に向けた取組を促進する。
もったいない・いわて3R運動	各主体総参加により、廃棄物の発生抑制を優先する3R（リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用））を基調としたライフスタイルやビジネススタイルへの転換を促す。
岩手県食育推進ネットワーク会議	保護者、学校関係者、事業者、生産者、NPO、関係団体等が一体のもとに、それぞれの能力を結集し、食育推進運動を県民運動として全県的に展開する。
青少年の非行・被害防止県民運動	青少年の健全育成のための諸活動を有機的に連携させ、これらを集中的に実施することにより、青少年の非行・被害防止の徹底を図る。
青少年育成県民運動（いわて家庭の日）	家庭の大切さを呼びかける啓発活動と実践活動への支援を行い、健全で明るい家庭づくりを推進する。
県民みんなで支える岩手の地域医療推進会議	自らの健康は自分で守るとの認識を持つことや、症状や医療機関の役割分担に応じた適切な受診等について意識啓発を行うなど、県民総参加型の地域医療体制づくりに取り組む。
岩手県脳卒中予防県民会議	本県の喫緊の課題である脳卒中死亡率ワースト1からの脱却とともに、健康寿命の延伸を図る。 県民一人ひとりが自らの健康状態を自覚し、健康的な生活習慣の確立とともに、社会全体で県民の主体的な健康づくりを支援する社会の確立を目指す。
教育振興運動	子ども、家庭、学校、地域、行政の5者が一体となり、地域の教育課題の解決に自主的に取り組む。